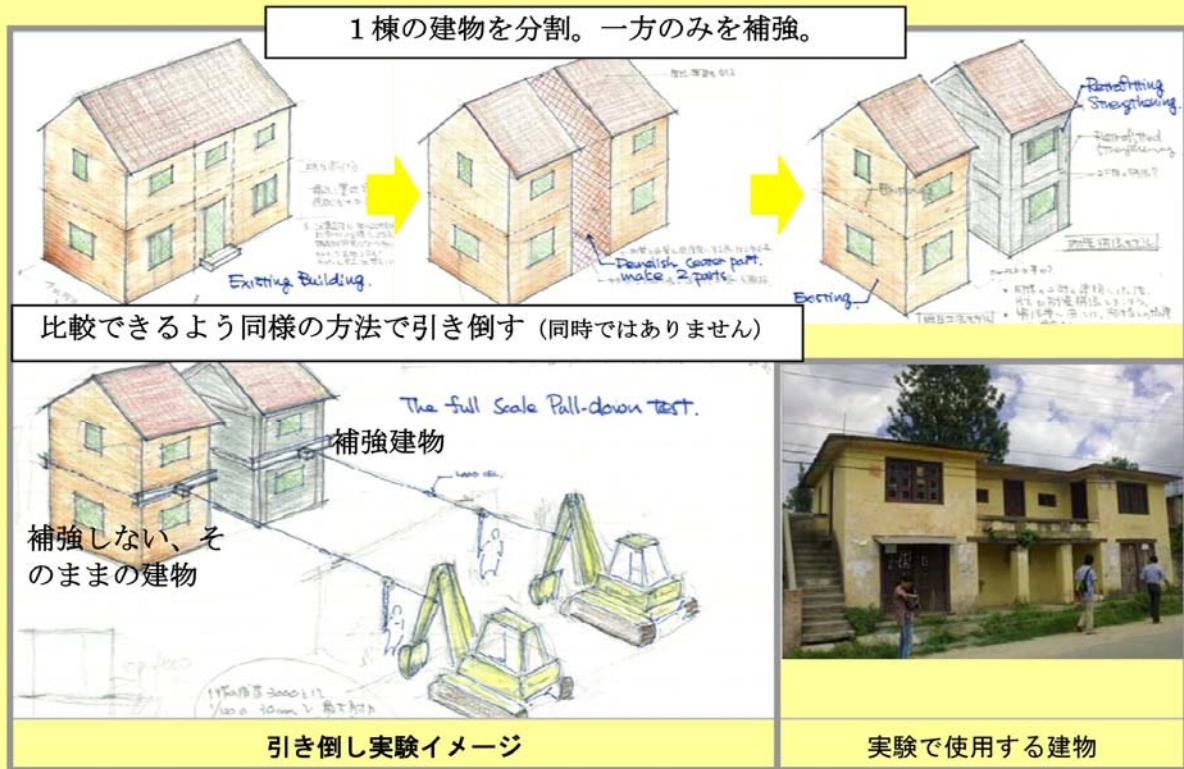




Asian Disaster Reduction Center

ネパールにおける耐震性検証のための引き倒し実験の公開

大規模地震による甚大な被害を軽減するためには、地震に対して極めて弱い古い建物（既存建物）の耐震補強が必要です。このため、今回、ネパールのカトマンズにおいて、既存の住宅を買い取り、どの程度の強度があるか、また、補強によりどれくらい強くできるかを調べるため、建物を倒れるまで引っ張る実験を実施します。この実験は、古い住宅が地震の際にどのように壊れるかを実際に見ていただくことにより地震被害の恐ろしさを体感でき、また、補強の効果がどれくらいあるかを目の当たりにしていただける機会ですので、南アジア5カ国（ネパール、インド、バングラデッシュ、パキスタン、ブータン）をはじめとする各国の防災関係者に公開することとしています。



日時：2009年10月15日（木）11：00～（現地時間）無補強建物の実験開始

* 11月2日（月）～3日（火）に補強建物の引き倒し実験を行います。実験データ記録が主な目的のため、関係者により実施します。

場所：ネパール カトマンズ ラリトプル バイシパティ（中心部より車で20分程度）
Bhainsepati, Lalitpur, Kathmandu



問い合わせ先：アジア防災センター（担当：大堀 mo-ohori@adrc.asia）

（本実験は、国連開発計画（UNDP）による「南アジア地域における地震防災対策計画」の一環）